

社団法人日本広告写真家協会
平成15年度事業報告書・決算報告書

(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

会長：藤井秀樹

副会長：安達洋次郎

副会長：長友健二

事務局：事務局員 5名

事務所：本部事務局

東京都中央区築地

2-11-3 ヒロシゲビル4F

支部事務部

東京・大阪・名古屋

福岡・札幌・仙台

会員数： 1, 112名

(平成16年3月31日現在)

【正会員： 896名】

【特別会員： 30名】

【賛助会員： 186名】

(法人59名・個人127名)

創立：1958年 6月27日

法人設立：1989年12月 4日

平成15年度（第15期）事業報告書

1. 総務に関する件

1. 会議の開催運営

第15期通常総会は、平成15年6月7日秋保温泉蘭亭に於いて開催し、総会に提出した議案が可決された。総会后、関連機関との交流を兼ねて懇親会を開催した。理事会は予定通り合理的に行った。幹部会は年間9回予定通り開催した。又、各審議委員会、総務部会も開催し意見の伝達等向上の目標をほぼ達成した。

2. 業務事務形態の整備

① 業務事務を遂行するにあたり、現諸規定の見直し及び整備をし、より合理的に業務・事務の進行を促進し、意思伝達の精度を向上した。

② 通常総会、理事会、幹部会及び各審議委員会の内容を迅速に会員へ伝達するために報告書の発行をした。又、報告書等を同封することにより発送費の経費削減を図った。

③ 支部事務の合理化と、より密接な連絡、事務作業の効率化を図った。

④ 例年通り平成15年度の名簿を発行した。⑤ 例年通り会員証を発行した。⑥ 事務局の一層

の強化を図り、担当委員及び正会員スタッフの負担減を目指した。又、事務処理の迅速化を図るために、支部事務部のコンピュータ機器の補充をした。

⑦ 閣議決定に基づき公益法人の業務・財務等に関する資料をウェブサイト上で情報公開した。

⑧ A P Aが職能団体であることの啓蒙活動を行い、広告写真家としての技量と実績を持つ者の入会を促進を図り、結果正会員数が増加した。

2. 財務に関する件

1. 事業収入減少の中で効率良く事業展開を図り、協会の広報活動により会員の増員が図られた。管理費においても更なる縮小予算で合理的に進行できた。

2. 予算・決算に関して

① 目標とした予算提出期限の厳守については、例年にない遅れた進行状況であった。

② 事業計画の予算執行については、事業進行が遅れ気味であったが、担当部長及び支部長との連携を密にし、合理的に執行できた。

- ③ 16年3月に中部を除く4支部にパソコンを設置し、ADSL回線に変更した。
- ④ 財務内容を明確にするため、事業活動の収支報告義務の徹底を図った。
- ⑤ 会館建設準備預金（特定預金）支出を計上した。

3. 事業に関する件

1. 調査・研究 事業

① 例年通り写真家団体及び写真関連団体のデータベース変更を行い、最新情報の確保に努めた。

2. 研修・セミナーに関する事業

① 6月19日北海道札幌市内カメラの川田会議室にて、デジタル共通言語の会を開催した。今年度は東京などで複数回を開催する予定であったが、諸事情を考慮し開催を見合わせた。

② デジタルハンドブックⅡを3月に3000部発行し、会員のすべてに配付した。

又、IPPFセミナー用に500部有料にて使用した。発行が諸事情により遅れたため、残部数に関しては16期に一部を有料にて配布の予定。

3. 知的所有権の確立に関する事業

① 有限責任中間法人日本写真著作権協会には、5人の理事を出し、法人設立やホームページの立ち上げに協力した。又、社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会からは、デジタル関連の情報を受けている。（社）日本著作権協議会が今期をもって残念ながら解散した。

② 広告代理店との懇談をするとともに、アメリカよりASMPやPPAの関連図書を購入して翻訳にかかっている。又、国内の図書を多く購入して研究を進めている。出版情報部と共同でデジタル写真における費用請求の試作をした。

③ 著作権相談室には年間10件の相談が寄せられた。相変わらず無断使用された相談が多く、時代を反映している。訴訟中の案件は大阪で1件である。

④ 「APA著作権レポート」は、平成16年2月末日に3号を発行し、1500部を正会員、関連団体、学校などに配付した。今回はデジタル時代の写真著作権を特集とした。

4. 展覧会の開催

① 第32回公募展の開催

東京展：平成16年3月12日～3月21日 東京都写真美術館

大阪展：平成16年3月23日～3月28日 大阪市立美術館

後援：経済産業省、文化庁、（社）日本グラフィックデザイナー協会
協力：キヤノン販売(株)、コダック(株)、(株)ニコン、富士写真フイルム(株)、
(株)フレームマン、(株)堀内カラー（五十音順）

印刷協力：凸版印刷(株)／協賛：法人賛助会員59社

テーマ分類：第1部門（公共広告へのアプローチ）

第2部門（企業へのアプローチ）

出展者：72名／展示作品数：72作品（190点）

応募者総数：411名（内学生136名）／応募作品数568作品（923点）

審査：平成15年11月25日労働スクエア会議室（オープン審査）

審査員：藤井秀樹、寺尾睦男、稲見宗孝、森俊幸、白鳥眞太郎、高井哲朗、

後藤徹、福田恭夫、永井一史、岩田一平、河村民子、河野和典、

経済産業省担当者、文化庁担当者、東京都写真美術館担当者

図録：入賞・入選全作品を収録し2000部制作

表彰式：平成16年3月12日恵比寿ガーデンプレイスエスパシオ

入場者数：東京3357名、大阪1254名 合計4611名

② 2003年新入会員展の開催

本年度は新入会員17名を迎え下記の通り開催した。又、オープニングセレモニーは東京、大阪にて行った。東北は日程の都合で第16期の開催となった。

東京：平成15年10月31日～11月6日 富士フォトサロン東京

九州：平成15年11月26日～12月5日 富士フォトサロン福岡

関西：平成15年12月12日～12月18日 富士フォトサロン大阪

中部：平成16年1月6日～1月13日 富士フォトサロン名古屋

北海道：平成16年3月19日～3月24日 富士フォトサロン札幌

東北：平成16年4月5日～4月16日 キヤノンサロン仙台

③ 北海道支部展の開催

「Wake up!!」と題して会員19名が参加し、2会場で展示を行った。

札幌展：平成15年7月15日～7月21日 札幌市写真ライブラリー

東川展：平成15年10月9日～10月22日 東川町文化ギャラリー

④ 東北支部展の開催

今回は初めての試みとしてインターネットを通じ、幅広くいろいろな方々に見ていただきたいと考え、Web上の開催とした。グローバル的な開催が会員に浸透したようで、東北支部33名中29名が参加した。

⑤ 関西支部展の開催

「美しい地球大好きVOL. 6」として平成16年2月20日～26日迄富士フォトサロン

大阪にて会員34名の45作品を展示し、3508名が入場した。付帯イベントとして、会場から離れた場所からデジタルカメラで撮影し、無線LANを利用して展示会場にて即座に出力する最新のシステムを利用したデモンストレーションを行った。

⑥ 九州支部展の開催

カレンダーの為の写真「地球・人・愛」と題し平成16年1月15日～20日迄アクロス福岡2F市民交流ギャラリーにて、会員25名が参加、(財)アクロス福岡との共催、九州経済産業局、福岡県、福岡市の後援で開催し、1193名の入場者があった。会場内のアンケートでは、今までの写真展とは違う新鮮さがあり、来年も同じテーマで開催してほしいとの回答が多く寄せられた。又、会期中の付帯イベントとして「初心者のためのデジタル写真セミナー」「初心者向アナログ写真の楽しみ方」を行い、両日とも定員を超える参加があり、盛況裡に終了した。

5. 出版及び情報の提供 事業

① 年鑑日本の広告写真2004は、平成15年2月14日A P Aルームにて審査が行われ、応募数1210点の中から、年鑑掲載作品271点(優秀賞5点・入選作品266点)が選出され、優秀賞には、白鳥眞太郎正会員の作品が2点、宇田幸彦氏、馬場道浩正会員、村井眞哉正会員の作品各1点が輝いた。審査は、稲見宗孝、森 俊幸、山下幸秀、池山和徳、永田圭司、村田和夫、藤井秀樹、長友健二、石崎 治、小林 健、藤倉孝幸の11名で行った。表彰式は、8月29日日比谷松本楼にて執り行い、優秀賞受賞者とアートディレクター及び広告主代表者(合計13名)、審査委員、A P A理事・法人賛助会社の約40名が出席した。

A P A事務局が取り扱う「年鑑日本の広告写真2004」は例年同様に順調な売り上げがあり、平成15年3月31日現在販売総数142冊、贈呈・本部保管・書庫閲覧用に42冊、在庫(贈呈+販売分)14冊となっている。なお、「年鑑日本の広告写真2002」は在庫分全てが無くなり完売した。

② 写真情報誌「瞬」はVol. 21～24までの4回発行した。表紙4名・ギャラリー 48名・フォトテクニック3名をお願いした。尚、Vol. 21ではフォトテクニック を掲載せず、故秋山庄太郎氏の追悼ページとした。平成16年1月(Vol. 24)までの総掲載者数は表紙24名・ギャラリー218名・フォトテクニック21名となっている。

③ 機関紙「A P Aニュース」は77～82号までの年6回(4月・6月・8月・10月・12月・2月)偶数月に発行した。

④ 平成16年1月A P Aのホームページをリニューアルし、著作権レポートVol. 1・Vo 1.2 (Vol. 3は4月掲載)をPDF書類に、“印刷入稿のためのRGB画像運用ガイドブック2004”レポートや公募展などを新規掲載している。4月8日現在、1 月からのアクセス総件数は8994件となっている。たった3ヶ月で今までの一年 分に相当するアクセス件数に近づいていることは、リニューアルによるA P Aホームページへの注目度が高まったからだ。

・リニューアル前アクセス件数：34580件（過去3年間分）

・リニューアル後アクセス件数：8994件（H16年1月より4月8日まで）

⑤ 有料でホームページの作成を行う準備をしていたが、希望者が無く事業が進められなかった。ただし、平成16年度からは正会員にメールアドレスを支給したり、支部専用ページを新設し、正会員作品表現の場として新規制作する予定です。アクセス数も増加していることで、今後のA P Aホームページにご期待願いたい。

⑥ 九州支部年報は、平成16年1月に1800部（モノクロ20ページ）発行した。

主な記載事項は、支部展作品・支部展案内・支部一年間の活動・各県便り・会社訪問・広告ページ等である。又A P A内部200部、広告掲載協力会社500部、官公庁/学校/美術館150部、写真関係関連会社35部、支部展用400部、A P A以外のカメラマンに150部等、広く配付をした。

⑦ 正会員・RGBデジタル画像規格標準化研究会・MD研究会のスペシャリスト達22名が集まり検討を重ね、PAGE 2004ジョイントイベントセミナーにて“印刷のためのRGB画像運用ガイドブック2004年版”を発表した。今回の小冊子に関しては、多くの広告業界関係者にプロフェッショナルとして最低限必要なデジタル画像情報を提供するため、発行部数を当初予定していた3,000冊（1冊の単価を500円）から10,000冊（1冊の単価を200円）に変更し、A P A会員には1175冊無料配布しました。3月31日に集計したところ、会員及び賛助会社に1冊300円で5,884冊を、一般の方には1冊400円で1,268冊を販売し、既に黒字になっている。なお、4月になっても申し込みが相次いでおり、順調に販売を続けている。

・印刷入稿のためのRGB画像運用ガイドブック2004について

発行日：平成16年2月1日

発行部数：10,000冊（プロセス&ヘキサカラー印刷44ページ）

内容：RGB画像運用のポイント、作業担当者別ワークフロー（フォトグラファー・画像処理・デザイナープリプレス等）、デジタルカメラの運用ポイント（RAW・TIFF・JPEG・Exif/DCF等）、Adobe Photoshop CS（カラー設定・画像の開き方・保存方法・色見本プリント）、色空間の比較（Adobe RGB・sRGB・Japan Color 2001・Japan Web Coated等）、プロセス4色印刷とヘキサカラー6色高品質印刷との比較、Mac OS X v10.3 “Panther”の最新技術情報、Adobe Photoshop CSの最新技術、入稿時の注意点

執筆者：（正会員）江口友一・江面俊夫・柏木善郎・塚本和成・永嶋サトシ
直樹・早川廣行・伏見行介・明正寺豊、（RGB研究会）飯島浩彦・岩崎千尋・鈴木浩之・槌屋匡人・長島真一・西島英二・野澤康文・橋爪乾

（MD研究会）東陽一・上原ゼンジ・郡司秀明・三瓶眞吾・庄司正幸

6. 内外関係機関との交流 事業

① PPA（プロフェッショナル・フォトグラファーズ・オブ・アメリカ）、韓国APA（KAPA）、中国撮影家協会等海外写真団体との情報交換を行い、国際交流に努めた。

② 平成15年7月11日銀座ラフィナートに於いて法人賛助会員への事業説明会を開催し、協力体制の合理化を図った。

③ 平成16年1月9日日本プレスセンタービル内レストランALASKAにて賀詞交歓会を開催し、会員及び関係者との交流を図った。又、各支部に於いても支部大会、賀詞交歓会、名刺交換会等を予定通り開催し関係機関及び関連団体との交流を深めた。

7. 広告写真会館建設 事業

① 具体的な物件について検討を行ったが、専門家の意見もあり、今期は、ビルの購入は見送ることとなった。但し、会館建設実現に向けた物件の検討は引き続き行う。

② 会館建設準備金積立は引き続き行った。又、会館建設をより具体化することを目的として会館建設募金活動を総会、賀詞交歓会等で行い募金者には特製バッジを贈った。今期の募金総額は19,100円

③ 会員のポジフィルムの管理委託は見合わせる事となった。

補：事業報告・決算報告に於ける担当理事・担当委員

統括：会長・藤井秀喜 副会長・安達洋次郎、長友健二 総括：専務理事・小川勝久

○総務に関する件 総務部長：理事・光 幸國

副部長：能津喜代房、渡邊英昭

担当委員：川部米広、山口敏郎

支部長：藤倉孝幸、杉山親生、秋田淳之助、石崎 治、青松吉植

巻口迪彦、森一六正、前野 漢、北川英雄、東島治男

○財務に関する件 財務部長：常務理事・北岡 悟

副部長：大屋徳亮、林 憲治

○調査・研究事業に関する件 事業部長：常務理事・根本 毅

○研修会・セミナー事業に関する件 事業部長：常務理事・根本 毅

○知的所有権事業に関する件 知的所有権部長：常務理事・柳澤俊次

副部長：理事・飯泉博基

副部長：堀切保郎

担当委員：石田研二、小杉俊幸、瀬尾太一

○展覧会事業 事業部長：常務理事・根本 毅

副 部 長：常務理事・友田富造

副 部 長：小島由起夫、杉野 謙、永島洋一、中村成一、林 和道

2003年新入会員展担当委員：沖田洋之、gami、阪口 克、出水恵利子

○出版・情報の提供 出版情報部長：常務理事・江口友一

副 部 長：西 直樹、伏見行介

担当委員：江面俊夫

○内外交流 総務部長：理事・光 幸國

副部長：能津喜代房、渡邊英昭

担当委員：川部米応、山口敏郎

○会館建設 会館建設部長：会 長・藤井秀喜

副部長：理事・進藤博信

担当委員：副会長・安達洋次郎、副会長・長友健二、専務理事・小川勝久

担当委員：常務理事・北岡 悟、理事・光 幸國

以上のとおり事業報告をいたします。